

脳神経内科

1. スタッフ (2024年4月1日現在)

科 長（学内准教授）	崎山 快夫
医 員（助教）	堤内 路子
	林 夢夏
	藤田 和樹
シニアレジデント	1名
非常勤医員	2名

2. 診療科の特徴

- 認定施設
 - 日本神経学会認定教育施設
 - 日本脳卒中学会認定教育病院
- 認定医
 - 神経内科専門医 3名
 - 総合内科専門医 3名
 - 脳卒中専門医 1名
 - 頭痛専門医 1名

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数	867人
再来患者数	7,843人

2) 入院患者数（病名別）

病名	患者数
脳血管障害	214人
免疫関連性中枢神経疾患 (MS、NMDA受容体脳炎など)	28人
神経感染症（細菌性・ウイルス性髄膜炎・脳炎など）	15人
神経変性疾患（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症など）	38人
末梢神経疾患（ギラン・バレー症候群、CIDPなど）	11人
筋疾患（筋炎、皮膚筋炎、ジストロフィーなど）	14人
発作性疾患（てんかん、片頭痛など）	31人
代謝	14人
外傷、骨格	0人
先天性	0人
腫瘍	1人
その他	20人
合計	386人

実働入院ベッド数 15.9床/日

年間入院患者実数 386人/年

平均在院日数 15.0日

3) その他の治療症例・数

- ホスレボドパ/ホスカルビドパ持続皮下注療法 5例

4) クリニカルインディケーター

死亡症例・死因・剖検数・剖検率

7例：脳梗塞5例、脳炎2例・剖検数0件・剖検率0%

5) 主な処置・検査

・脳波	132件
・末梢神経伝導検査	208件
・誘発電位	28件
・針筋電図	34件
・平衡機能検査	11件
・神経筋生検	2例

4. カンファレンス

1) カンファレンス・回診

水曜8時00分より抄読会、カンファレンス・科長回診
月、火、木、金曜8時30分よりスタッフ回診
月～金曜16時30分よりスタッフ回診

2) 他科とのカンファレンス

月曜日 14時より 5A病棟多職種合同リハビリテーションカンファレンス
火曜日 14時より 5B病棟多職種合同リハビリテーションカンファレンス

火曜日 15時より脳神経外科・救命センター・脳神経内科による脳卒中合同カンファレンス

3) 多施設とのカンファレンス

日本神経学会 関東・甲信越地方会	4回／年
小児科から成人診療科への移行を語る会	1回／年
埼玉県神経内科医会	1回／年
さいたま難病診療連携WEBセミナー	1回／年

5. 研究・学会活動

①小児期発症疾患の成人神経内科への移行状況に関する検討

上記に関して、日本神経学会学術集会で発表し、日本難病ネットワーク学会および日本神経学会学の小児-成人移行医療対策特別委員会の活動を行った（堤内、崎山）。

6. 部門・部署ごとの事業計画

目標に対する2024年の達成度

2025年の目標等

脳卒中の診療体制は救命センター・脳神経外科・脳神経内科の3科連携体制が定着し、rt-PA静注療法はほぼ

救命センターで実施されるようになったため、本稿での報告は終了した。

神経疾患は新規治療としてパーキンソン病のデバイス療法、神経免疫疾患の分子標的薬治療が増加しており、これらは患者のQOL改善に大きな効果をもたらす反面、高額医療であり医療経済・病院経営とのバランスに苦慮した1年であった。

外来診療では、近医・往診医への逆紹介を増やすように心がけた。

引き続き、脳卒中患者の早期転院と臨床研究の充実を目標としたい。